

## 第1回 添川小学校学校運営協議会記録

令和7年5月28日(水)

9:30~11:30

### 協議等の内容

#### (1) 令和6年度学校経営について

○校長が「学校経営の大綱」に沿って説明(内容は省略)

- ・ 令和6年度 学校経営の大綱について、全員が承認

#### (2) 校内授業一巡

#### (3) 学校運営協議会員の方から

- ・ (町の統合準備委員会の報告…) 新たな三校となるわけだが、第二小の教育内容を中心として進んでいくようだ。教育方針も、校章も、校歌も第二小のもので。数年の間の暫定的なこととなっているのでそれでいいのではとなっている。もっと工夫できないかという声もあるが。
- ・ 公民館がまちづくりセンターになった。最後の年度なので、各部会で学校と連携して何かしたいという声がある。相互に大変にならないようにと思っている。
- ・ 今年度は教職員の増加により複式授業解消が進んでいる。このような充実した人事は本当にありがたい。

Q 閉校について、子どもの意識はどうか、聞いてみたい。

A 昨年度の3学期、二小に統合になる話をした。担任を通して聞いたところ、大きな不安は特にない様子で、期待が大きいようだ。不安もあるかもしれないが。

- ・ 老人会で聞いてみると、通学はどうなるのか等いろいろ聞かれる。見守り隊では事故のないようにと思っている。自覚して、見守りをしている。

Q 統合について、わかる範囲で教えてほしい。

※以下のAは全て教育総務課長さんより

A 段階的措置ということでご理解いただきたい。5月の全戸配布プリントで周知した内容になるが、4月16日に統合準備委員会があった。閉校式は添川小が3月20日。手ノ子は11月15日。町長が主催する。記念事業もそれぞれに実施。閉校記念事業に対する町の補助は20万になっている。備品は、夏休みに二小に持っていくものを職員が決める。3月末に引っ越し作業。運動着は令和8年4月から新しいデザインのを町全体で導入する方向で検討中。現行の運動着のままやおさがりもよいとしているので、第二小については令和8年4月に4種類の運動着が混在することになる予定。飯豊中の制服、カバン、ズックも新デザインのを導入する方向で、現在、生徒会で考えている。ジェンダーフリーで制服はブレザーになる。5月の会議では通学についても話し合った。二小はこれまでと同じ。添川小と手ノ子小の児童は令和8年度に全員スクールバス通学となる予定。停留所を設定するが具体的には7月に決まる。見守り隊の人には、停留所を知らせたい。

Q 松原もスクールバスか？

A はい。なお、松原の距離では、(二小のスクールバス該当距離に満たないため)令和9年度には変わるかもしれない。

- ・ 下椿と松原は同じぐらいの距離。令和9年度は、また考えていくことになる。

Q ①子ども110番はどうなるのか。②子どものとらえ方はどうか。③添川地区の合同運動会はどうなるのか。

A ①警察と連携して検討していく。②子どもにとっては1回きりのその学年である。複式と比べ教員の目が届くよさがあり、子どものためになると思う。いいでの森学

園の開校年度は、今年度中に決定し町民の皆さんにお知らせすることになっている。

③合同運動会、東部地区町づくりセンターと教委で子どもたちの活躍の場をつくっていききたい。

Q 校舎、畑はどうするのか。

A 学校財産ではなくなり、町の普通財産になる。空き校舎の活用プロジェクトがある。備品の残ったものは公民館とか、それでも残った物は地元の人に使っていただくことを検討している。

Q 学校の畑はどうなるのか。

A これから確認する。

Q グランド、体育館の使用はろうなるのか？地域で使っているのか？それによって運動会などもどうなるか。

A 体育館、グラウンドは現在と同様に町の社会教育やまちづくりセンターを通して使用していただく。

- ・ 運動着の混在、通学について、二小の学校経営を続けることなどの話があった。ここにいるメンバーでは、新たな学校に行くのだということで確認させていただきたい。見守り隊は新たな学校でも、ぜひご協力を。
- ・ 授業では先生方の質問に児童がどんどん答えていた。いい先生に恵まれ、いい学校環境の中で学習していてよかった。
- ・ 複式のやり方に慣れていたが、その時は背中合わせで勉強していた。複式学級の3・4年の今日の授業は単式授業になっていて、児童がとても集中していた。1年生は入学式の時と変わって、成長していた。
- ・ 複式授業が解消されていていい。教室が6つで勉強していることに感銘した。先日の白川湖ダムマラソンに出場したが、新入生の孫が抱っこされずに完走できたので、成長を感じた。
- ・ 今日の2年生の集中力がすばらしく、成長を感じた。5・6年生もすごい集中力。放課後は友達の家に行っているようだ。来年度以降、地域内の子どもの居場所が町づくりセンター等になってほしい。放課後、子どものいる地域になってほしい。
- ・ 複式解消、校内体制の確立、子ども達の成長、学校経営がうまくいっている。子どもの居場所については町づくりセンターが受け皿になればと思うので、その体制づくりに励んでいきたい。学校がなくなっても育成会と連携していきたい。

## その他

### ① 閉校記念行事について（校長より）

- ・ 記念碑を校門近くに設置し、式典の後、記念碑の披露式を行いたい。児童の参加はそこまで。午後ほめざみの里物産館で「思い出を語る会」を実施。案内は町からの発出となり、記念行事の案内も同封する。地域の全戸の方にも出欠を伺う案内を送付する予定。

### ② 残したい地域活動について（地域学校協働活動統括コーディネーターより）

- ・ 手ノ子から、中津川の自然や文化に触れる活動、添川から緑に親しむ活動が提案されている。まだ原案段階で、総合的な学習の中で担任裁量で入れてほしいという案になっている。みどりの少年団の存続については、町の考え、添川財産区の思い、他の財産区との関係等を含めて調整していきたい。結論はまだ。
- ・ 第二小からは、見守り隊の継続が提案されている。白椿安全ネットの現体制に準じた形で統合後の体制を提案していきたい。警察から「見える化」が犯罪の抑止力になると言われている。帽子、ユニホーム等の共通仕様などを考えたい。お金がかかるのですぐに全ては揃わないかもしれないが。第一小では中部の婦人部で見守りをしようという話になっている。全町、同じ色になると犯罪抑止力になるかと思う。もう一つ、「ながら見守り」も大事と言われている。畑仕事をしながら、運転しながら等。高砂会やJ A等の組織も活かしていただきながら。
- ・ （できれば定期的に)水曜日に「あ～す」で「まなびあい広場」を今年度から開催

する予定。中学生が小学生に教えるなど。アンケートをとったり、反応を見たりしながらその後の開催について検討していく。

- 8月14日に添川温泉祭りがある。毎年中学生がボランティアとして24～25名ほど参加してくれる。昨年度は、添川地区以外の中学生も14人ほどいたようだ。